

14. 国際協力室

室長 石川直子(～2004.6)
中嶋建介(2004.6～)

概要

近年の国際交流の進展にともない、世界的に公衆衛生上の大きな脅威となるような新興・再興感染症が、地球上のあらゆる地域から、短期間のうちに国内へ侵入する可能性が高まっている。21世紀最初の重篤な新興感染症であるSARSを始め、米国等で流行中のウエストナイル熱、アジアの各国で流行し、ヒトへの感染例が増加している鳥インフルエンザH5N1など、例にいとまがない。このような状況においては、世界規模での情報収集、研究・技術面での国際貢献等、諸外国の研究機関との国際協力の推進と、国内関係機関との連携調整が重要になっている。

国際協力室は、平成9年設置後、国立感染症研究所の所掌事務に係る国際的な調査及び研究の調整を行っている。具体的には、外務省、JICA、JICWELS等から厚生労働省、国立国際医療センター等を通じて依頼される開発途上国等に対する技術協力(外国人研修員の受け入れを含む)の調整、WHO・WPRO等の国際機関及び外国政府機関等との協力(感染症国際対策のための専門家派遣、保健大臣等要人の受け入れ等を含む)の調整等、以下のように実施している。

・開発途上国等との技術協力の調整

開発途上国等に対する技術協力については、外国人研修生の受け入れと、国立感染症研究所からの専門家の派遣が中心である。外国人研修生の受け入れについては、平成16年4月から平成17年3月までに、54カ国から240名の外国人研修生を受け入れた(別表1)。また、国立感染症研究所の専門家の派遣については、平成16年4月から平成17年3月までに、20カ国94名の派遣を行った(別表2)。

・国際機関及び外国政府機関等との技術協力の調整

国際機関等との協力については、WHOとの協力を中心に、アジア開発銀行等とも連携し、また外国政府機関との協力については、新興・再興感染症の発生地域への緊急職員派遣、関係国との国際シンポジウムの開催等を行っており、その概要は以下の通りである。

1. インドネシア・スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波後の被害地における支援のため、専門家を派遣

(1) 平成17年1月 国際緊急援助隊として被災地疫学調査のため、感染症情報センターから2名をインドネシアに派遣

(2) 平成17年1月～2月 感染症のサ・ベイランス体制の強化支援のためWHO専門家として感染症情報センターから1名をインドに派遣

(3) 平成17年1月～2月 同上の用務のため、感染症情報センターから1名をスイス(WHO本部)に派遣

(4) 平成17年3月 被災国の事情・状況把握のため政府調査団員として感染症情報センターから1名をタイに派遣

2. 鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染が拡大するベトナムに対し、パスツール研究所のラボ支援を主目的に専門家を派遣

(1) 平成17年1月 現地情報収集のため、WHO専門家としてウイルス第三部から2名派遣

(2) 平成17年2月 同上用務のため、ウイルス第三部から2名派遣

(3) 平成17年3月 疫学情報収集を目的として、感染症情報センターから2名を国立微生物研(NIH E)に派遣

3. 平成17年2月、東チモールにおけるデング熱流行対策のためWHOの緊急調査隊に参加し、ウイルス第一部

国際協力室

並びに昆虫医科学部から各 1 名を派遣

〔平成 17 年 3 月、上記国際感染症緊急協力派遣職員による帰国報告会を開催し、課題をとりまとめ(別表 3)〕

4 . アジア開発銀行の要請をふまえ、タジキスタン保健省職員 3 名に SARS 対策緊急支援のための研修を実施

5 . 海外研究機関からの標準品、参照品等の分与依頼について手続方法を確立。(別表 4)

.その他の国立感染症研究所の所掌事務に係る国際的な調整

二国間科学技術協力協定に基づく協力プロジェクト(台湾等)、実地疫学専門家養成コースに係る調整、厚生労働省結核感染症課、JICA、国立保健医療科学院、国立国際医療センター、等との国際協力連絡・調整等を行っている。

国際協力室
平成16年度
外国人研修生受入について

年月日	国籍		所属先	受入担当	研修名等(依頼元)
H16.4.2	中国	社 紅 寧 芳 沈 壯 郭新彪	北京CDC 北京大学	感染症情報センター	国際共同研究実施のための日本国内でのSARS等感染症対策のシステムの調査(自治医科大学)
H16.4.6 ~ 12.12	インドネシア タイ ニジェール マーシャル諸島	Benyamin Sihombing Janisara Rudeeaneksin Harouna Youssoufi Jprbi Balos	伝染病・保健総合理事会 公衆衛生省 医師 公衆衛生部門	ハンセン病研究センター	ハンセン病の治療及び予防の実践(JICA 集団研修)
H16.4.22 ~ 4.23	中国	Zhu Wei Chen Liesheng Wang Bing Zhang Jianguang Chen Bei Chen Huirong Qing Jie Yang Feiru	上海生物製品研究所	所長 ウイルス第三部 ウイルス第一部 細菌第二部 動物管理室 バイオセーフティ管理室	視察訪問(上海生物製品研究所)
H16.5.17	ウズベキスタン ガーナ カザフスタン カンボジア キルギス コンゴ ザンビア タンザニア 中国 トーゴ ニジェール 日本 バヌアツ フィリピン フィリピン マレーシア モルディブ モンゴル ラオス	Bakhodir Erkinovich Rahimov Bertha Adwoa Gyau Gulnara Zhanetovna Mukhanova Ruslan Turarovich Akhmetov Chhe Bun Thou Mean Chan Yada Kurmanalieva Ainura Joldshbekovna Akunov Nurdin Jumabekovich Okiata Kenkana J.Paul Canisius Banda Meshack Michael Woiufoo Philipo Gadi Munisi Hiltruda Chrisant Wu Jun Wu Jiabing Yan Xiangjian Chen Xiaoyun Amidou Sani Ibrah Boukary 笹川恵美 曾永紋子 渡辺志津 Merianm Daisy Carlot Ma. Teresita Somera Cucueco Alama Lou Aquino Dela Cruz Fariza Mohd. Yusof Mohamed Rafeeq Hassan Altantuya Jigjidsuren Bounfeng Phoummalaysit	共和国緊急医療研究センター Komfo Anokye大学附属病院 保健医療省 カザフスタン泌尿器科学センター アナン市健康局 カンボジア赤十字 キルギス州立医学院 保健省 Chongwe地区健康管理チーム 中央政府 保健省 公衆衛生管理センター 安徽疾病制御予防センター 日中友好病院 地域健康衛生局 国立公衆衛生校 助産婦・看護士 国立医療センター研究センター研究所 筑波大学体育研究科修士課程在籍 健康省 労働雇用省 健康制作開発計画局 健康省 保健省 健康省 健康省	感染症情報センター	公衆衛生行政管理研修 (国立保健医療科学院(JICA))

国際協力室
平成16年度
外国人研修生受入について

H16.5.24	ギニア	Martin Cisse Sumbukeni	国立ウナスティーン大学	ハイセーティ管理室 感染症情報センター エイズ研究センター	熱帯医学研究コース(長崎大学熱帯医学研究所(JICA))
	ザンビア	Francis Kowa Duncan Mwelwa	ザンビア大学附属病院		
	セネガル	Papa Diogoye Sene	ダカルダンテック大学		
	トーゴ	Yawo Dotse Afetse	地域医療長		
	ナイジェリア	Idowu Dele Araoyinbo	ナイジェリア医療研究所		
	フィジー	Mike Nacovunisaga Kama	ワニコ医療センター		
	モーリタニア	El Moustapha ould El	テレット医療センター		
H16.5.24	中国	Qin Chuan	中国医学科学院実験動物研究所	動物管理室 ハイセーティ管理室	中国実験動物専門家訪日団 (長崎大学先導生命科学支援センター長)
		Wei Qiang	中国医学科学院実験動物研究所		
		Zhao Hong Xu	中国医学科学院血液学研究所		
		Zhu Hui Fang	中国農業科学院ハルビン獣医 研究所実験動物センター		
		Qu Lian Dong	中国医学科学院実験動物研究所		
		Liu Yung Bo	中国医学科学院実験動物研究所		
		Gao Hong	上海転基因研究中心		
		Chen Jian Quan	重慶医科大学実験動物センター		
		Tan Yi	河南省実験動物中心		
		Wang Chun Yao	首都医科大学		
		Lu Jing	中国医学科学院実験動物研究所		
Wu Yi Li	中国医学科学院実験動物研究所				
Liu Yang	ハムリー(株)通訳				
H16.5.25	中国	Qin Chuan	中国医学科学院実験動物研究所	動物管理室 ハイセーティ管理室	中国実験動物専門家訪日団 (長崎大学先導生命科学支援センター長)
		Wei Qiang	中国医学科学院実験動物研究所		
		Zhao Hong Xu	中国医学科学院血液学研究所		
		Zhu Hui Fang	中国農業科学院ハルビン獣医 研究所実験動物センター		
		Qu Lian Dong	中国医学科学院実験動物研究所		
H16.6.23	ガーナ	Bertha Adwoa Gyau	Komfo Anokye大学附属病院	ハンセン病研究センター	公衆衛生行政管理研修(国立保健医療科学院(JICA))
	カザフスタン	Gulnara Zhanetovna Mukhanova	保健医療省		
	コンゴ	Okiata Kenkana J.Paul	保健省		
	ザンビア	Canisius Banda	Chongwe地区健康管理チーム		
	タンザニア	Meshack Michael	中央政府		
		Woiufoo Philipo Gadi Munisi	保健省		
		Hiltruda Chrisant	保健省		
	中国	Wu Jun	公衆衛生管理センター		
		Wu Jiabing	安徽疾病制御予防センター		
	トーゴ	Amidou Sani	地域健康衛生局		
	ニジェール	Ibrah Boukary	国立公衆衛生校		
	日本	笹川恵美	助産婦・看護師		
		菅永紋子 渡辺志津	国立医療センター研究センター研究所 筑波大学体育研究科修士課程在籍		
	バヌアツ	Merianm Daisy Carlot	健康省		
	フィリピン	Ma. Teresita Somera Cucueco	労働雇用省		
Alama Lou Aquino Dela Cruz		健康制作開発計画局			
Mohamed Rafeeq Hassan		保健省			

国際協力室
平成16年度
外国人研修生受入について

H16.6.16	~7.30	インドネシア	Dewi Lisa	バライ研究所	エイズ研究センター	HIV感染者のケアとマネジメントのための高度診断技術(JICA (集団研修))
		ザンビア	Lameck Sukwa	臨床検査技師		
		ジンバブエ	Zinyama	国立健康研究所		
		スワジランド	Rutendo Beunah	保健福祉省		
		セイシェル	Sindisiwe Susan Dlamini	保健省		
		タイ	Eddy Michel Kilindo	医療技術者		
		タンザニア	Sumonmai Uttayamakul	ヒンブル国立病院		
		ナミビア	Hilda David Maya	ナミビア病理学研究所		
		フィジー	Christine Weiss	国立ウイルス・動物媒介感染症科学センター		
		ボツワナ	Apaitia Vakacegu	保健省		
マラウイ	Tapologo Nkoane	保健省				
マレーシア	Doris Butao	保健省				
H16.7.7		アフガニスタン	Ahmad Azani Bin Othman	国立血液センター	ウイルス第二部	第1回ワクチン予防可能疾患の根絶セミナー() (国際保健医療交流センター)
		カンボジア	Stanikzai Ahmad Arif	保健省		
		スワジランド	Ya Nareth	保健省		
		ドミニカ共和国	Mavis	保健社会福祉省		
		ナミビア	Despradel Omar Eduardo	地方保健所		
		ニジェール	Primus Shilunga	疫学局		
		パキスタン	Ousmane Sanda	保健省		
		パナマ	Muhammad Tariq	政府機関		
		ルワンダ	Bayard Vicenie	健康調査研究所		
		バングラディッシュ	Ropa Barry	健康省		
H16.7.19	~8.31	台湾	Jih-Hui Lin	台湾CDC	ウイルス第三部	タイプ別インフルエンザウイルスの検査と測定(台湾CDC)
H16.7.26		パキスタン	Muhammad Tariq		感染症情報センター	パキスタン予防接種拡大支援プロジェクト(国立国際医療センター(JICA))
H16.7.30	~9.30	中国	Wen-Bin Tong	四川省疾病対策制御センター	ウイルス第二部	予防接種事業強化(国別研修)ポリオ分子生物学診断技術研修(JICA)
H16.8.19	~8.20	ウズベキスタン	Akmal Abrodovich Makhamatov	国立エイズセンター	血液安全性研究部	AIDS/ATLの疫学及び対策セミナー(国立病院機構熊本医療センター)
		エルトリア	Negusse Gebremeskel Zigta	アスマラ・ハス・ハス病院		
		ガンビア	Malick Samaram Njie	ロイヤルビクトリア教育病院		
		セネガル	Sylva Antoine	ダカル総合病院		
		トーゴ	Patassi Akessiwe	トコイン教育病院		
		フィジー	Mohammed Ishaque	保健省		
		ブルンジ	Pancrace Ntibarufata	保健省		
		ベリーズ	Aisha Nicole Andrewin	カルヒュスター記念病院		
		ホンジュラス	Hegla Varinia Izaguirre Bourdeth	国立感染症研究所		
		マラウイ	Alice Jacqueline	保健省		
ミャンマー	Nanda Kyaw	保健省				
H16.9.2		韓国	Kim Tong Soo	国立健康研究所	感染症情報センター	感染症情報サーベイランスシステム等に関する意見交換・視察(韓国健康研究所)
			Cho Sang Ki	忠清北道健康環境研究所		
			Park, Yong Bae	Gyeonggi-do健康環境研究所北部支所		
			In Chi Kyung	Chungcheongnam-do健康環境研究所		
			Kim Kyung Tae	DaeguMetropolitan健康環境研究所		
			Kim Soo Jung	Jeju-do健康環境研究所		
			Yeo Yeong Hee	Gyeonsangnam-do健康環境研究所		
			Lee Jong Bok	Gyeonggi-do健康環境研究所		
Yoo Young A	ソウル健康環境研究所					
Kong Yoon	Sungkyunkwan大学					

国際協力室
平成16年度
外国人研修生受入について

H16.9.15		中国	Song Hong-Bing Li Zhaoxi Li Shaohua	安徽省廬江區疾病センター 安徽省鳳陽區保健局 安徽省医科大学	感染症情報センター	安徽省プライマリヘルスケア技術訓練プロジェクト研修(国立保健医療科学院 (JICA))
H16.9.17		ナイジェリア	Dawha Ishaya Mwajim Achegbulu Onche Philip Etikudo Ofonime Akpan Peter Richard Yakubu Kachiro	国家エイズ行動委員会 Usman Danfodio病院 アク・イホム州連邦医学センター イバダン市医療大学 連邦保健省	エイズ研究センター	ナイジェリアHIV感染予防対策研修(北海道大学(JICA))
H16.10.5		カンボジア フィリピン ベトナム ミャンマー ラオス	Thai Savuth Pineda Eloisa Carreon Tran Thi Luu Nguyen Huong Htum Tin Insisiengmay Bounnaloth	保健省 ガバメント・センター 保健省 中央疫学部隊 保健省	感染症情報センター	感染症対策研修(国際厚生事業団)
H16.10.6		インド インドネシア カンボジア 大韓民国 中国 バングラディッシュ マレーシア モンゴル ラオス	Jahnabi Goswami B.B.Rewari Grace Ginting Munthe Kim Bunna Tep Navuth Shin Kyung-mi Dang-hui Zhao Meiwen Yu Umme Salma Jahan Meena Sharifah Nazneen Agha Nyamaa Khulan Beuang	HIV・エイズと共に生きる 人々アッサムネットワーク ドクターラム・マノハール・ロヒヤ病院 保健省感染症対策管理 国立エイズ・皮膚病・性感染症センター 国立エイズ公共事業機関 大韓民国疾病対策予防センター 黒竜江省疾病対策予防センター 国立性感染症・ハンセン氏病対策人材センター リポダクティブヘルス調整員 エイズアジア太平洋地域ネットワーク 連合プログラム調整員 保健省国立エイズ対策委員会	感染症情報センター エイズ研究センター バイオセーフティ 管理室感染病理部	アジア地域エイズ専門家研修(エイズ予防財団)
H16.10.12	~10.13	インド	S Chakrabarti	NICED 副所長	エイズ研究センター	インド国分子生物学コース(JICA)
H16.10.12		オマーン ケニア タイ 中国 マレーシア	Nasser Salem Saif Al-Wehaibi Fahad Mahmood Joyce Wanjiku Nyoike Wittaya Thammarith Li Bu-Rong Malarvili AP Ramalingam	農漁業省 保健省 自然資源・環境省 西安交通大学 科学技術革新省	感染症情報センター	衛生環境分析技術者 コース (沖縄県衛生環境研究所(JICA))
H16.10.14		ベトナム	Dinh Ngoc Sy Hoang Thi Lien Huong Le Thanh Phan	国立肺結核研究所 CENCOBI	細菌第一部 バイオセーフティ管理室 感染症情報センター	施設見学(細菌第二部)
H16.11.1	~H17.1.28	中国	Wen-Bin Tong	四川省疾病対策制御センター	ウイルス第二部	予防接種事業強化(国別研修)ポリオ分子生物学診断技術研修(JICA)
H16.11.1		アルゼンチン 中国 ボツワナ メキシコ	Marcela Patricia Xiao Ma Ontlametse Gracious Setswamorago Carrillo Briano Edith	国立医薬品研究所 国立薬品・生物製剤検定所 カトリン地方評議会 保健リスク対策連邦委員会	細菌第二部	ワクチン品質管理技術コース(阪大微生物研究会観音寺研究所(JICA))
H16.11.5	~11.12	タジキスタン	Tohir A.Sherhanov Ahmadbekova Sabohat Ruziev M.Mehmondust ovich	国立マラリア対策センター副所長 共和国高度感染症部門 保健省	ウイルス第一部 ウイルス第三部 感染症情報センター	SARS対策緊急地域支援研修(アジア開発銀行)

国際協力室
平成16年度
外国人研修生受入について

H16.12.23		中国	Li Wanhua Zhang Jianhua Lang Luqun Jing Hui Cai Mingyong Zhou Hua Zhu Ye Zhu Hunyan	上海生物製品研究所副所長 基礎建設主任 基礎建設副主任 ワクチン第一室副主任 インフルエンザワクチン生産部副主任 営業部マネージャー 設備管理主任 海外貿易部	細菌第二部 ハイオセーティ管理室 動物管理室	施設見学(上海生物製品研究所)
H16.12.9		インド ケニア タイ パナマ フィジー フィリピン ペルー ボツワナ	Kemp John James Muthee Muita Chudaachhara Unhasuta Barrios Raquel Chandra Reginald Flores Leah Bagunu Barrios Raquel Ketshabile	ナガーランド州保健・家庭福祉局 保健省 チュラロンコン大王記念病院 コークス記念センター フィジー植民地戦争記念病院 ラグナ保健局 国立ドガルド・レバグリアティ・マーティン病院 国立保健研究所	細菌第二部	薬剤耐性病原体の実験室診断()コース (国際保健医療交流センター)
H16.12.20		台湾	Ming-Rong Yue-Fen Shui-Hua Lin Ming-Ren Chang Ming-Fen Wu-Hsiung Chao-Ying Pan Ra-Chen Yang Ching-Yaw Tzuu-Yuan Huan	高雄市保健局 高雄市疾病制御センター 高雄大学 Kai-Suan精神病院 市立統一病院	ウイルス第一部	施設見学及び講義(台湾高雄市)
H16.12.20		マレーシア	Norazah	厚生省医学研究所	ハイオセーティ管理室	施設見学(長崎大学熱帯医学研究所)
H17.1.11	~2.4	マレーシア	Norizah Ismail	国立公衆衛生研究所	ウイルス第二部	消化器官細菌の同定及び検査のための組織培養技術研修(WPRO)
H17.1.19	~1.28	マレーシア	Mohamad Mariam	保健省	感染症情報センター	公衆衛生の研究室におけるデータ収集、分析等の生物情報学の確率(WPRO)
H17.1.31	~2.4	中国	Wen-Bin Tong	四川省疾病対策制御センター	ウイルス第二部	予防接種事業強化(国別研修)ポリオ分子生物学診断技術研修(JICA)
H17.1.31	~2.18	インド ジンバブエ トーゴ ネパール パキスタン パナマ ミャンマー	Rajeev Thakur Blessing Fanani Matshaka Lacle Tevi Djidjogbe Anani Kiki Phup Raj Rai Rukhasana Hameed Ilka Abigail Guerra Guerra Meiji Soe Aung	人間行動学関連研究所 公衆衛生研究所 健康省 国立衛生研究所 公衆衛生研究所 ゴルガス記念衛生研究所 国立衛生研究所	ウイルス第二部	地球規模ポリオ根絶のためのウイルス検査技術の質的向上(JICA)
H17.2.14	~3.1	インド	Byomkesh Manna	National Institute of Cholera and Enteric Diseases	感染症情報センター	インド国下痢症対策(フェーズ2)国別研修「生物統計学」(JICA)
H17.2.17		韓国	朴	韓国保健産業振興院	ウイルス第三部	日本におけるインフルエンザ等のワクチンに関する調査(柳韓大学保健医療福祉研究所日本事務所)
H17.3.7		中国	Su Hujun Jou Yiqing Xu Huaen	中国衛生部 中国CDC 甘肅省衛生庁	ウイルス第二部	中華人民共和国予防接種強化プロジェクト(国別研修)「予防接種」に係る研修(JICA)
H17.3.9		インドネシア	Rusmiyati Widiyarti	保健省	感染症情報センター	インドネシア国「地方分権下における保健医療行政」(JICA)
H17.3.10		中国	曉明 徐曉明 劉輝 王如剛 周素梅 星淑玲	北京市CDC	感染症情報センター	中国北京CDC招聘者(茨城県つくば保健所長)
H17.3.14	~4.7	インド	Byomkesh Manna	National Institute of Cholera and Enteric Diseases	感染症情報センター	インド国下痢症対策(フェーズ2)国別研修「生物統計学」(JICA)
H17.3.22	~4.16	中国	Yong Zhang	WHOフェロシップ	ウイルス第二部	ワクチン由来ポリオウイルスの解析(柳韓大学保健医療福祉研究所日本事務所)

国際協力室

別表 1

平成 1 6 年度 外国人研修員等国別受入数

国 名 等	人 数 (人)	国 名 等	人 数 (人)
アジア地域[19国]		アメリカ地域[7国]	
アフガニスタン	1	アルゼンチン	1
インド	7	ドミニカ共和国	1
インドネシア	5	パナマ	3
オマーン	2	ベリーズ	1
韓国	12	ペルー	1
カンボジア	6	ホンジュラス	1
タイ	4	メキシコ	1
台湾	11		
中国	80	オセアニア地域[4国]	
ネパール	1	バヌアツ	2
パキスタン	3	パプア・ニューギニア	1
バングラディシュ	2	フィジー	4
フィリピン	6	マーシャル諸島	1
ベトナム	4		
マレーシア	7	ヨーロッパ地域[4国]	
ミャンマー	3	ウズベキスタン	2
モルディブ	2	カザフスタン	3
モンゴル	2	キルギス	2
ラオス	3	タジキスタン	3
アフリカ地域[20国]			
エリトリア	1		
ガーナ	2		
ガンビヤ	1		
ギニア	1		
ケニア	2		
コンゴ	2		
ザンビア	5		
ジンバブエ	2		
スワジランド	2		
セ - シェル	1		
セネガル	2		
タンザニア	7		
トーゴ	5		
ナイジェリア	6		
ナミビア	2		
ニジェール	4		
ブルンジ	1		
ボツワナ	3		
マラウイ	2		
モーリタニア	1		
		国 数 計	54
		人 数 計	240

国際協力室

別表 2

専門家海外派遣について

(単位：人)

派遣国	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度
ガーナ	8	3	3		3	1	3	
中国	7	5	3	1		2	8	10
インドネシア	2	1	1	1				3
バングラディシュ	2							
タイ	2	5	7	8	10	10	8	10
ベトナム	2					2	2	8
カンボジア	2	1	1	1	2	1	1	
フィリピン	1	3	3	3	1		1	4
エジプト	1	1	2	1		1	1	
カメルーン			1					
セネガル			1					
象牙海岸			1					
エチオピア		1				1	1	
ウガンダ		1						
タンザニア		1	1	1				
ラオス		2	1					
マレーシア		2	3	2				1
トルコ			1	3	2	1		
インド			2	1			3	4
モンゴル			1	2		2		
フランス				1				3
ミャンマー						1		
シンガポール							1	
台湾							1	4
パキスタン							1	
アメリカ								3
南アフリカ								2
英国								2
カナダ								1
スイス								30
メキシコ								1
韓国								2
オーストラリア								2
スウェーデン								1
スリランカ								1
東チモール								2
合計	27	26	32	25	18	22	31	94

別表 3

国際感染症対策のための専門家派遣における課題

平成 17 年 3 月

国立感染症研究所

感染研において平成 16 年度に実施した国際感染症対策のための緊急専門家派遣に際し、以下の課題点があったことから、今後、国際感染症協力を進めるに際しては、その課題の検討が望まれる。

1 派遣に際する予算等の課題

(1) 旅費

現状では、政府予算、本省予算が無い場合は、厚生科学研究費補助金を主任研究者の了解を得て用い、海外旅費を工面する状況。

(この場合、補助金の規定により、派遣期間は2週間に限定され、さらに派遣者を分担研究者に追加することが必要となる。なお、WHO の国際調査隊に参加する場合は、参加国で渡航費を工面することが必要)

(2) 手続き

時間的に公用旅券の取得が困難な場合が多々あり、私用旅券での渡航となることもある。

(その場合、現地で身分を証明する文書が無い。感染研では、便法として、私用旅券での渡航の際は、外務省をつうじ現地領事館に事前通報を依頼。また、派遣候補者には数次の公用旅券の取得の申請を依頼。)

2 派遣地での活動に関する課題

(1) 活動費

現地での調査費、活動費は自己負担となる場合が多い。

(WHO による派遣の場合は、自己負担の後、帰国後に本人が償還することが可能。なお米国 CDC では、現地で使用可能な一定限度額のカードを派遣職員に貸与し、資金の裏付けをもった活動を実施中)

(2) 関係機関との連携

現地の JICA 職員、大使館職員等と連携し協力を得られる体制が必要

(欧米諸国の国際感染症協力においては、専門家が業務に専念できるよう、ロジ担当者の同行や現地大使館員の協力の下、迅速な入国手続き、必要最低限の検査機器等の手荷物検査の支援、交通手段の手配等に至るまで、国を挙げての対応が進められているもよう。)

(3) 国内との連絡体制の確保

派遣職員が GPS 携帯、GPSLAN カードを携行し、後方支援を行う感染研と連絡を取れる体制が必要

(米国 CDC 等は、軍を含めた現地関係者の通信手段も活用し、本国と連絡することを見聞。当面、携帯等については所内予算で対応を検討)

(4) 個人の健康対策

渡航前に事前に地域ごとに必要なワクチンを接種し、医薬品を携行することが必要。また、有事の際の速やかな医療提供体制も必要

(欧米諸国では、派遣者の事故や感染に際して、本国や安全な医療が提供できる地域への速やかな送還措置が取られており、我が国の協力においてもこれに習うべきと考える。なお、予防接種等については所内予算で対応を検討)

(5) 保険

健康保険でカバーできない補償(盗難、紛失、損害等)については、派遣者本人で民間の海外旅行保険に個人加入しなければならない。

さらに、科研費で派遣された場合は、予防注射料、外貨交換手数料、出入国税、査証手数料等の請求が不可。

3 派遣要員に関する課題

(1) 要員の限定

派遣可能な要員は限られているが、今後ともアジア諸国からの要望に極力応える方針。

(しかしながら、十分な能力を有して現地で活動可能な職員は限られており、また国内での通常業務にも欠かせないことから、派遣対応は、相当の困難な中での対応となっている現状)

(2) 要員育成の必要性

今後の国際協力対応を拡充するためには、能力を有した要員に若手職員を見習いのため同行させる等の実地研修を行っていくことが必要

(国の感染症対策機関として人員養成は不可欠)

別表4

国外機関への標準品、参照品等の分与手続き

